

町の貯金と借金の状況(令和2年度末見込み)

※1人当たりの額は、令和2年3月末の人口21,933人で割った額です。

区分	金額	町民1人当たり
貯金		
災害や急を要する経費に備えるための貯金	6億9,545万円	31,708円
町の借金返済を計画的に行うための貯金	6億1,056万円	27,837円
特定の目的(農業や漁業の振興など)のための貯金	19億3,958万円	88,432円
計	32億4,559万円	147,977円
借金		
一般会計	197億9,253万円	902,409円
特別会計(国民健康保険、後期高齢者医療、簡易水道事業、下水道事業、介護サービス事業)	64億6,257万円	294,650円
企業会計(水道事業、病院事業)	24億6,792万円	112,521円
計	287億2,302万円	1,309,580円



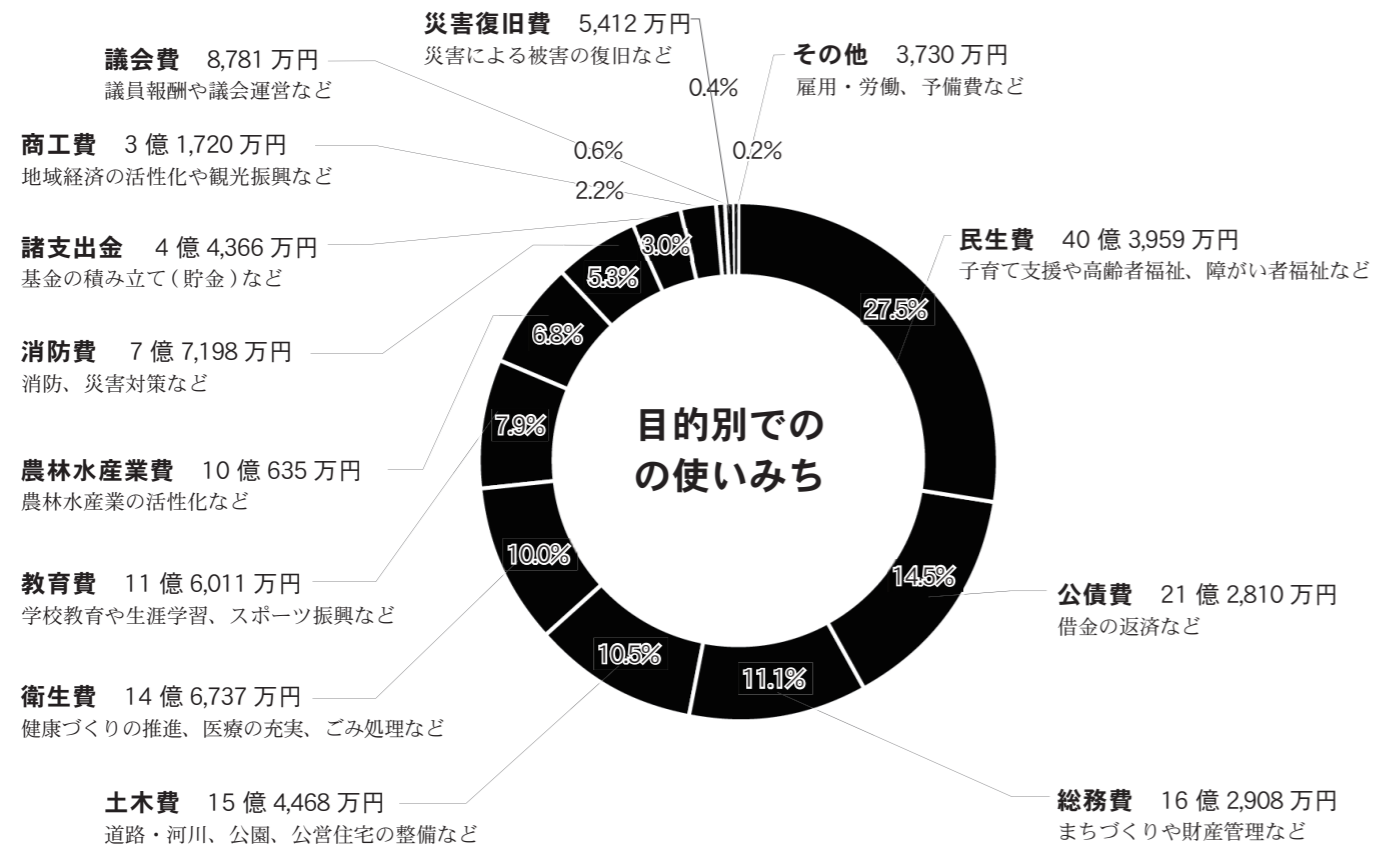
新ひだか町の当初予算

令和2年度一般会計  
146億8,735万円

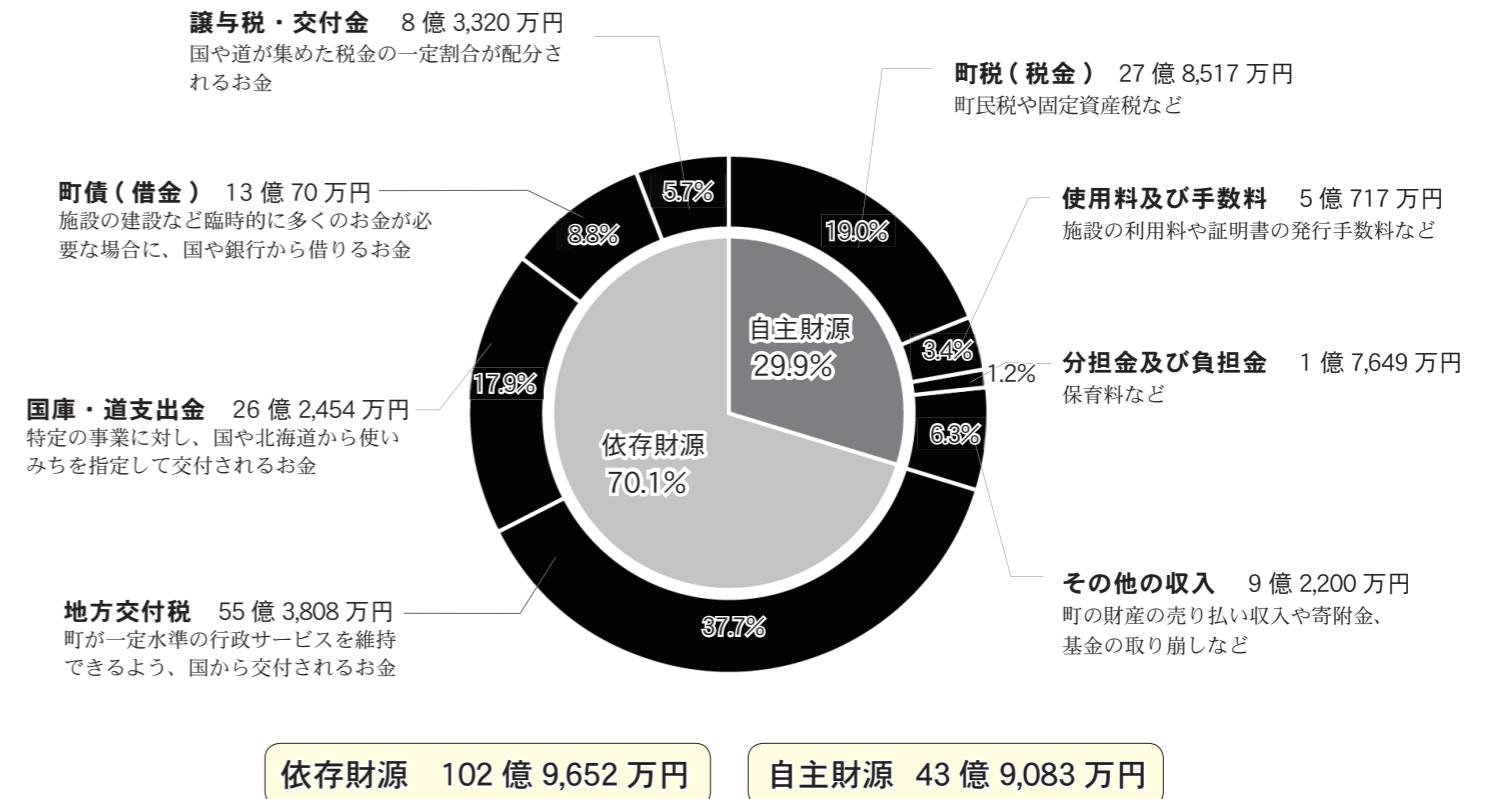
人口減少や少子高齢化などの社会的環境の影響により、依然として厳しい財政状況ですが、この町で暮らす皆さんが生涯を通じて、この町に住みたいと思えるまちづくりを実現するために、民間活力の導入や財源の効果的な活用などに取り組んでいきます。

問合せ 静内庁舎総務課  
☎49-0259(直通)

●一般会計の歳出 146億8,735万円



●一般会計の歳入 146億8,735万円



一般会計歳出(性質別での使いみち)

項目	予算額	構成比	説明	項目	予算額	構成比	説明
補助費等	23億1,402万円	15.8%	事業や団体運営に対する補助金など	普通建設事業費	16億9,323万円	11.5%	道路、公園など公共施設の建設費など
扶助費	23億10万円	15.7%	障がい福祉サービス費や児童手当、医療の給付費など	繰出金	11億2,803万円	7.7%	特別会計の資金運用経費など
人件費	22億2,766万円	15.2%	職員の給料など	その他	7億8,011万円	5.2%	災害による被害の復旧経費や貯金、貸付金など
公債費	21億2,810万円	14.5%	借金の返済など	合計	146億8,735万円	100%	
物件費	21億1,610万円	14.4%	光熱水費や施設の管理費など				

**用語解説**

◎自主財源  
町が自主的に収入し得るお金

◎町税(税金)  
使用料及び手数料  
分担金及び負担金  
その他の収入(財産収入や寄附金、基金の取り崩しなど)

◎依存財源  
国、道の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりするお金

●地方交付税  
●国庫支出金、道支出金  
●町債  
●譲与税・交付金など



予算の詳細は、町公式ホームページをご覧ください。